

所在地：浦安市入船4-37-1

施主：中野 恒明

設計：中野恒明+アプル総合計画事務所

施工：(株)岡本工務店

環境に配慮した建築物
すだれの家



撮影：(株)アプル総合計画事務所

地球環境にかかわる問題が、日常の会話の中でも取りざたされる時代になってきた事を感じるこのごろである。受賞作品となった、すだれの家は千葉県浦安市に広がる典型的な埋め立て地の一角に位置し、全てが人工的につくられた住宅街ではあるものの、時間の流れと樹木の成長が落ち着いた表情の家並みを形成している。ちょうど、海風を受けるべく設置された風力発電のプロペラの回転が、改めて海の街であることを確認させてくれる。すだれの家は周辺地域の自然に精通された方の自邸とあって、光・雨水・風といった地域の自然を最大限に活用した快適な住まいを実現している。家全体に仕掛けられたさまざまな環境制御と自然エネルギーの取り入れかたは、身近な自然エネルギーの大切さを感じると同時に、省エネルギーへの関心を喚起する。

雨水貯留システム・太陽光発電・太陽熱温水・風力発電・高断熱高气密型設計といった設備を備えると同



撮影：(株)アプル総合計画事務所

時に、日本の伝統的な環境制御装置であるすだれを併用し、より安価で質の高い住環境を実現している。ちょうど街区の色で見通しのよい位置に建つ事を十分意識し、樹木や壁面の緑化で街に対しても潤いを与えている。

(工藤和美)